

人間関係学科生涯教育専攻 カリキュラム・マップ(2021年度入学生)

ディプロマ・ポリシー

- 次のような知識や能力を備えた学生に学士(生涯教育)の学位を授与します。
- ①「生涯教育」の意義を理解し、社会の中の多様な学びに目を向けることができる(意欲)
 - ②自ら学び、他者の学びを支援することができる(思考)
 - ③社会教育主事任用資格の取得をベースに専門性をもった職業能力を身につける(知識・技術)
 - ④人間や社会に関わる現代的課題について「教育・学習」の観点から思考することができる(思考・知識・技術)
 - ⑤「生涯教育」を通じてよりよい社会を実現する方策を具体的に探求することができる(創造・行動)

| 科 目 名 | 授業形態 | 配当年次 | 単位 | 授業の主題 | 授業の到達目標 | ディプロマ・ポリシーの番号 ◎達成のために特に重要 ○達成のために重要 | | | | | |
|-----------|------|-------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
| 生涯教育基礎演習1 | 演習 | 1 | 2 | 生涯教育専攻における学習の基礎を身につける演習科目。 | 1.生涯教育の基本的な意義を理解し、興味をもって取り組めるようになる。 2.読み・書き・プレゼンテーションおよび社会連携について、自ら学び、互いの学びをサポートしながら大学での学習を組織できるようになる。 | ○ | ◎ | | | | |
| 生涯教育基礎演習2 | 演習 | 1 | 2 | 大学で生涯教育を学ぶのに必要な読み・書き・プレゼンテーションおよび社会連携について基本的な能力を身につける。 | | | | | | | |
| 生涯教育演習1 | 演習 | 2 | 2 | 生涯教育を専門的に研究していくための能力を身につける演習科目。 | 1.大学で生涯教育を研究していくための能力を身につける。 2.文献精読と資料作成、プレゼンテーションが基本的なレベルでできるようになる。 | | ◎ | | ○ | | |
| 生涯教育演習2 | 演習 | 2 | 2 | 学術的文献を読んで関連する知識を蓄えるとともに、学術論文の読み方、解題の仕方・プレゼンテーションのやりかた等を身につける。 | | | | | | | |
| 社会教育演習1 | 演習 | 3 | 2 | 社会教育を専門領域として探究するために必要となる知識と技術を習得する演習科目。 | 1.社会教育を専門的に探究するための能力を身につける。 2.社会調査・統計処理および専門的文献の読解ができるようになる。 | | ◎ | ○ | | | |
| 社会教育演習2 | 演習 | 3 | 2 | 基本的な調査技術および統計処理法、また文献の読解等、専門領域の研究を進めるリテラシーを高める取り組みを実施する。 | | | | | | | |
| 生涯教育課題研究1 | 演習 | 4 | 2 | 生涯教育の領域において、自らの問題意識に沿って研究を進め、卒業論文の作成に結びつける。 | 1.生涯教育の領域で自らの問題意識を育てる。 2.自らの問題意識に沿って研究を組織し卒業論文の作成に結びつけることができる。 | | ○ | ○ | ○ | ◎ | |
| 生涯教育課題研究2 | 演習 | 4 | 2 | | | | | | | | |
| 生涯学習概論1 | 講義 | 1 | 2 | 生涯学習に関する基本的な知識を概説する。生涯学習の歴史的系譜を概観し、また、生涯学習社会の現状について理解する。 | 1.生涯学習に関する基本的な知識を得ることで、この領域に興味をもつ。 2.生涯学習の歴史と現状について理解し、簡単な説明ができるようになる。 | ◎ | | ○ | ○ | | |
| 生涯学習概論2 | 講義 | 1 | 2 | 生涯学習に関する基本的な知識を概説する。同時に、生涯学習論の諸領域を概観することで、さらなる学習の基盤をつくる。 | 1.生涯学習に関する基本的な知識を得ることで、この領域に興味をもつ。 2.生涯学習論の諸領域について理解し、簡単な説明ができるようになる。 | ◎ | | ○ | ○ | | |
| 生涯学習支援論1 | 講義 | 2 | 2 | 生涯学習概論の内容に積み上げて、生涯学習支援に関する知識を概説する。 | 生涯学習の支援について概説的な知識を得る。 | | ○ | ◎ | ○ | | |
| 生涯学習支援論2 | 講義 | 2 | 2 | 生涯学習支援に関する専門的技術を涵養する。 | 生涯学習の支援に関する専門的技術を身につける。 | | ○ | ◎ | ○ | | |
| 社会教育経営論1 | 講義 | 3 | 2 | 社会教育の経営に関する知識を概説する。 | 社会教育経営について概説的な知識を得る。 | | ○ | ◎ | ○ | | |
| 社会教育経営論2 | 講義 | 3 | 2 | 社会教育の経営に関する専門的技術を涵養する。 | 社会教育の経営に関する専門的技術を身につける。 | | ○ | ◎ | ○ | | |
| 社会教育特講1 | 講義 | 2・3・4 | 2 | 現代社会の変化の中で生涯教育を捉える。身近な社会の現象に結び付けながら生涯教育を理解することで、生涯教育論を学ぶための導入とする。 | 1.生涯教育を生み出した現代社会の変化を理解する。 2.身近な社会の現象に結び付けながら生涯教育を理解することで、生涯教育を自分の問題として学ぶ態度を形成する。 | | | ◎ | ○ | | |
| 社会教育特講2 | 講義 | 2・3・4 | 2 | 社会教育にとって最も基本となる基本的人権の視点について学ぶ。人権という視点から社会教育を捉えることで、社会教育学を学ぶための基盤をつくる。 | 1.基本的人権の尊重という観点で社会教育の役割を理解する。 2.基本的人権の尊重という視点から教育と社会の問題を捉えることができるようになる。 | | | ◎ | ○ | | |
| 社会教育特講3 | 講義 | 2・3・4 | 2 | 社会教育・生涯教育について行政的視点から論じる。社会教育行政の理論と実際を理解することで、社会教育専門職としての職業的能力を身につける。 | 社会教育行政の理論と実際を理解することで、社会教育専門職としての職業的能力を身につける。 | | | ◎ | ○ | | |
| 社会教育特講4 | 講義 | 2・3・4 | 2 | 社会教育・生涯教育について学習支援論的視点から論じる。学習支援の理論と実際を理解することで、社会教育専門職としての職業的能力を身につける。 | 学習支援の理論と実際を理解することで、社会教育専門職としての職業的能力を身につける。 | | | ◎ | ○ | | |
| 生涯教育特論1 | 講義 | 2・3・4 | 2 | 人間や社会にかかわる現代的課題について「教育・学習」の観点から科目ごとに具体的テーマを設定し生涯教育に関して広く深く論じる。 | 各科目テーマにもとづき、生涯教育を現代的課題として捉える知識と視点を持ち、自分の意見を形成することができる。 | | | | | | |
| 生涯教育特論2 | 講義 | 2・3・4 | 2 | | | | | | | | |
| 生涯教育特論3 | 講義 | 2・3・4 | 2 | | | | | | | | |
| 生涯教育特論4 | 講義 | 2・3・4 | 2 | | | | | | | | |
| 生涯教育特論5 | 講義 | 2・3・4 | 2 | | | | | | ○ | ◎ | ○ |
| 生涯教育特論6 | 講義 | 2・3・4 | 2 | | | | | | | | |
| 生涯教育特論7 | 講義 | 2・3・4 | 2 | | | | | | | | |
| 生涯教育特論8 | 講義 | 2・3・4 | 2 | | | | | | | | |

| ディプロマ・ポリシー | | 次のような知識や能力を備えた学生に学士(生涯教育)の学位を授与します。 ①「生涯教育」の意義を理解し、社会の中の多様な学びに目を向けることができる(意欲) ②自ら学び、他者の学びを支援することができる(思考) ③社会教育主事任用資格の取得をベースに専門性をもった職業能力を身につける(知識・技術) ④人間や社会に関わる現代的課題について「教育・学習」の観点から思考することができる(思考・知識・技術) ⑤「生涯教育」を通じてよりよい社会を実現する方策を具体的に探求することができる(創造・行動) | | | | | | | | |
|-------------|------|--|-----|--|---|---------------|---|---|---|---|
| 科 目 名 | 授業形態 | 配当年次 | 単 位 | 授業の主題 | 授業の到達目標 | ディプロマ・ポリシーの番号 | | | | |
| | | | | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 教育史 | 講義 | 2・3・4 | 2 | 教育の歴史について知識を得るとともに、「教育・学習」の現代的課題を歴史的視点から捉えられる視座を得る。 | 1.教育の歴史について知識をもち、説明することができるようになる。 2.「教育・学習」の現代的課題を歴史的視点から捉える視座をもち、自分の意見を形成することができる。 | | | ○ | ◎ | |
| 博物館学概論 | 講義 | 1・2・3・4 | 2 | 博物館学の概要を学ぶとともに、博物館の理念、制度、現状、歴史に関する基礎的知識を理解し、専門性の基礎となる能力を養う。 | 1.博物館学に関する基本的な知識を得ることで、この領域に興味をもつ。 2.博物館の歴史と現状について理解し、簡単な説明ができるようになる。 | ◎ | | ○ | ○ | |
| 博物館情報・メディア論 | 講義 | 2・3・4 | 2 | 博物館における情報の重要性を認識しその意義を学ぶとともに、活用及び具体的な伝達方法について総合的な運用能力を養う。 | 1.博物館における情報の重要性と意義を理解する。 2.博物館における情報の活用および具体的な伝達方法について、必要な運用能力を示すことができる。 | | | ◎ | ○ | |
| 博物館教育論 | 講義 | 2・3・4 | 2 | 博物館教育の特性について理解し、博物館の教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得する。博物館教育を企画、実施するのに必要な基礎的能力を養う。 | 1.博物館教育の特性について理解する。 2.博物館教育の理論や実践に関する知識と方法を習得する。 3.博物館教育を企画、実施するのに必要な基礎的能力を示すことができるようになる。 | | | ◎ | ○ | |
| 図書館情報学概論 | 講義 | 1・2・3・4 | 2 | 図書館および図書館情報学の概要を学ぶとともに、図書館の歴史と現状、他の社会教育機関との連携等に関する基礎的知識を理解し、図書館の社会的役割の重要性を認識し、専門性の基礎となる能力と態度を養う。 | 1.図書館および図書館情報学に関する基礎的知識を得ることで、この領域に興味をもつ。 2.図書館の社会的役割の重要性を認識し、専門性の基礎となる能力と態度を養う。 | ◎ | | ○ | ○ | |
| 生涯教育基礎実習 | 実習 | 2 | 2 | 学内外での実習・講義・グループワークおよび地域連携型事業に取り組むことを通じて、生涯学習支援の基礎と生涯学習の地域社会への展開を実践的に理解する。 | 1.生涯学習支援の基礎を実践的に理解する。 2.生涯学習の地域への展開を実践的に理解する。 | | | | ○ | ◎ |
| 社会教育実習 | 実習 | 3 | 2 | 社会教育施設での見学実習及び実務実習および学内外での講義・グループワークにより、社会教育主事として必要とされる専門的、実践的知識・技能を修得する。 | 社会教育主事として必要とされる専門的、実践的知識・技能を習得する。 | | | ○ | ○ | ◎ |
| 生涯教育実習1 | 実習 | 1・2・3・4 | 1 | 生涯教育にかかわり、科目ごとに具体的テーマを設定し、学内外での実習をおこなうことで、より広範な生涯学習支援の専門的知識・技術を実践的に理解する。 | 各科目テーマにもとづき、生涯学習支援の専門的知識・技術を実践的に理解する。 | | | ○ | ○ | ◎ |
| 生涯教育実習2 | 実習 | 1・2・3・4 | 1 | | | | | | | |
| 生涯教育実習3 | 実習 | 1・2・3・4 | 1 | | | | | | | |
| 生涯教育実習4 | 実習 | 1・2・3・4 | 1 | | | | | | | |
| 卒業論文 | | 4 | 8 | 4年間の学修の集大成である。関心のある対象・テーマに関して、先行研究を踏まえながら、独自の意見を形成し、説得的かつ論理的な論文を作成する能力を養成する。 | 1.先行研究に関する文献調査ができる。 2.テーマに関するフィールド・アンケート調査ができる。 3.独自の意見を形成できる。 4.意見を論文のルールにしたがって表現できる。 | | ○ | ○ | ○ | ◎ |